

施設名	浦和中央保育園	電話	048-822-2067
住所	浦和区仲町2-13-7		

事例 41	タイトル	「食事に親しみ、食への興味を高める」事例	
	目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食への興味を高め、好き嫌いをなく食べようとする。</li> <li>・バランスよく食べて、元気な体を作る。</li> </ul>	
	当日のねらい (小さな目標)	3色食品群について知り、食べ物と体の関係に興味をもつ。	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児 保護者・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年9月8日(木)10:00~11:15(栄養士さんによる集会)。その後、継続した取り組み	
	場所	ホール	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品カード(野菜のおなか)…栄養士</li> <li>・パネルシアター(栄養士さんによる)…栄養士</li> <li>・3色食品群ボード(手作り)</li> </ul>	
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>①栄養士さんによる食事の大切さ、3色食品群についての講話を聞く</li> <li>②講話を元に4、5歳児はクラスで3色食品群のボードを作成</li> <li>③食事の前に子どもたちがメニューを確認して、その日に使用している食材を色分けしていく</li> </ol>	
結果・参加者の反応の様子	<p>栄養士さんが来園をして、3色食品群の指導をしていただいたことは、子どもたちにとっても初めての取り組みでした。集会では、集中して話を聞きながらも、楽しく参加しており、栄養士さんからの質問等に対しても積極的に答える姿がみられました。</p> <p>参加後は、食材への興味が高まり、食事中に友だち同士で「これは赤だね」「野菜だから緑かな?」と会話をする姿が見られるようになり、同時に食欲も高まってきました。各クラスで3色食品群のボードを作成し、当番が食事前にメニューを確認しながら色分けをしており、楽しみながら取り組みを継続出来ていると共に、苦手な食材も食べてみようとする意欲が高まりました。また、同じ食材で他にどんなメニューが出来るのかを、考えられるようになりました。</p>		
評価・今後の課題	<p>今後は、どんな食材を1日に食べれば良いのかをわかりやすく伝え、より食への興味を高めると共に、朝食をしっかり食べていない家庭も増えているので、食事の大切さをわかりやすく伝えていきたいと考えています。</p> <p>また、4、5歳児が対象でしたが、2、3歳児にもわかりやすく伝えていきたいです。</p>	備考	<p>2、3歳児にもわかりやすいボードを作成し、今年度で終わらず、継続していきたいです。</p>

浦和中央保育園



5歳児の取り組みの様子



4歳児の取り組みの様子

施設名	常盤保育園	電話	833-8730
住所	浦和区常盤9-3-16		

事例 42	タイトル	食育集会 ～乾物編・出汁編～	
目指す姿 (大きな目標)	給食に出る身近な食材を知り、五感を使って感じることで食べることに興味を持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	乾物戻しや出汁に触れ、興味や関心を持つ。		
方法	対象者 (〇で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (〇で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年10月21日金曜日 令和4年11月4日金曜日	
	場所	4歳児室で集会を行い、各クラスにて回覧をした。	
	資料・教材	透明カップ、乾物の原材料の写真 乾物(ひじき、高野豆腐、切り干し大根、麩、干し椎茸、春雨) 出汁(煮干、昆布、かつお、干し椎茸)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食で身近な乾物や出汁について実物を使用し、見たり触ったり、匂いを嗅いだりと五感を使って感じられるようにした。</li> <li>乾物になるまでの過程や利点などは、4・5歳児を対象にした集会を通して絵カードやクイズ形式で行った。</li> </ul>		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾物を見せたところ、干し椎茸はすぐに分かったが、それ以外のものは分からず、普段食べているものと結びつかないようだった。</li> <li>乾物にする前の野菜や緑豆の写真を見せ、太陽や熱風の絵カードと共に、乾物にする過程を話すと、「えー！」と驚きながら聞く姿があった。</li> <li>乾物を戻す過程を見たり触ったりして、柔らかくなったことに気付いたり、大きさの変化や匂いなどを感じたりして興味を持っていた。</li> <li>集会後の給食で、ひじきのサラダに気付いた子どもたちは、「さっきのひじきだ！」と喜んでよく食べていた。</li> <li>味噌汁は味噌だけでなく出汁が入っていることを知り、驚いていた。集会後は「これはお魚の出汁？」と食べながら聞く姿があった。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食室前に食育コーナーを設置し、レシピ配布や食育ナビの周知、集会の様子などを掲示して保護者へ発信している。食育集会後に写真付きの掲示を食育コーナーに行ったが、3・4・5歳児の保護者の動線から目に付きづらい場所なので、子どもにも知らせていくと共に、下駄箱上の全体掲示板に更新した旨の掲示をして周知につながるようにしたい。</li> <li>普段何気なく食べている乾物の変化を実際に見たことで、興味や関心が出て来ている。今後は芋堀りのさつまいもで干し芋を作ったり、枝豆栽培からきな粉を作ったりと体験も交えた食育活動を楽しみながら行うことも検討したい。</li> </ul>		

## 乾物&出汁について



4歳児と5歳児には乾物や出汁が取れる食材のクイズを出しながら、作り方やおいしさの秘密について話しました。切り干し大根やお麩、煮干などは見ただけでは名前がわからず、答えを聞くと「ああ〜！」と納得していました。



うわあ〜。すごいにおいがする。



かがせて〜。いいにおいだね。



見て触って、匂いをかいで興味津々でした。



施設名	さいたま市立常盤北保育園	電話	048-833-8728
住所	さいたま市浦和区針ヶ谷 4-1-1		

事例 43	タイトル	「見て」「触って」「嗅いでみて」 野菜を五感で感じてみよう。	
目指す姿 (大きな目標)	食に関心を持ち、様々な食材を喜んで食べる。		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の野菜に実際に触れることで、食材を身近に感じ関心を持つ。</li> <li>・実際に触れたり嗅いだりしたカボチャ、えのきが給食に出ていることに気づき、食べてみようとする。</li> </ul>		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ <b>2歳児</b> ・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <b>保育士</b> ・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年 11月 17日(木)9:30~10:00	
	場所	2歳保育室	
資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本「おやおや、おやさい」</li> <li>・野菜(カボチャ・えのき・白菜・ラディッシュ・とうもろこし・セロリ・にんにく・きゅうり・パセリ・トマト・とうがらし) ※野菜には目と手をつける。</li> </ul>		
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 絵本「おやおや、おやさい」に登場する野菜の実物を使って「おやおや、おやさい」を保育者が演じる。</li> <li>② 実際に野菜に触れてみる。白菜は丸ごとのものを用意し、一人ずつ持ってみて、大きさと重さを感じる。カボチャは丸ごとを切ってみて、中の種を触ってみる。えのきは傘が密集した部分を触ってみる。それぞれ匂いを嗅いでみる。</li> <li>③ 当日の給食の時間に食育活動で触れたカボチャ、えのきに関心が向く声掛けをし、食べる意欲につなげる。</li> </ol>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大好きな絵本の「おやおや、おやさい」の実物の野菜が次々に出てくると、とても喜び興味津々で見ていた。自ら触れてみようとする姿も多かった。</li> <li>・白菜を抱きかかえると、自分が思っていたよりもずっしりと重たいことに気づき驚いていたが、「ちからもちだ」と言って、嬉しそうに持ち上げていた。</li> <li>・えのきは束のままの状態を知らなかったようで「これ、たべられるの?」と聞く子もいた。</li> <li>・給食の時間に「カボチャがはいっている」「えのきがみえるよ」と食材に気付く姿が見られ、口を大きく開けて、喜んで食べていた。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本から導入することで、子ども達の関心を引き出すことができた。</li> <li>・実物の食材に触れることで関心が高まり、身近に感じられたようだった。また、食べてみようとする意欲に繋がった。</li> <li>・匂いへの反応は薄かったため、例えば、給食の時に食材をみせたあと、調理されておいしい匂いになった野菜を伝えられるようにしていきたい。</li> <li>・継続して食材に触れる機会が得られるように計画していく。</li> <li>・食育活動の様子を、保護者向けにも発信し、家庭との連携を図っていけるようにする。</li> </ul>	備考	



絵本に登場してくる野菜達。絵とそっくりで、子ども達も興味津々でした。



実演の様子です。



面白い場面では笑い声をあげ、生き生きとした表情で参加していました。



大きな白菜を抱きかかえ、その重みに驚きつつも食材に触れることを楽しんでいました。

施設名	さいたま市立東仲町保育園	電話	048-885-9101
住所	さいたま市浦和区東仲町 28-16		

事例 44	タイトル	カレーができるまで ～調理室を見てみよう～	
	目指す姿 (大きな目標)	給食で食べている食材に興味・関心を持つ。	
	当日のねらい (小さな目標)	カレーの作り方を知る。 カレーの作り方をしながら親子や友だち同士で話をして興味を持つ。	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・ <u>1歳児</u> ・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・ <u>保護者</u> ・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・ <u>調理師</u> ・調理員・その他( )	
	日時	令和4年 10月末～11月	
	場所	保育園全体掲示、配信、各クラス掲示	
	資料・教材	写真を印刷した紙を画用紙に貼り、掲示	
	実施内容	10月27日の小江戸カレーのメニューの日に保育士が調理室に入らせてもらい、調理の様子を実際に見たり写真を撮ったりする。その様子をわかりやすく伝えられるように掲示を作って各クラスに貼り、子どもたちにも食育集会でカレーができるまでの話をして給食の作り方を伝える。保護者向けにカレーの作り方の掲示も作り、全体掲示や配信も行う。	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラスの子どもたちは、リンゴの皮むき器や大きなさつまいもの写真に特に興味を持って見ていた。</li> <li>・カレーに何が入っているかのクイズを出すと「さつまいも」「にんじん」と答え、中には「りんご」と答える子もいた。</li> <li>・ケチャップやソースを見て「うちにもある」と友だち同士で会話をしていた。</li> <li>・食育集会では、作り方の話を聞きながら、驚いたり、保育士のクイズに答えたりして楽しく聞いているようであった。</li> <li>・乳児クラスでは、「にんじん」「きゅうり」と材料の名前を言ったり、どうして温度をはかっているのかと保育士に聞いたりしていた。</li> <li>・掲示の前を通るたびにじっと写真を見たり、指をさしたりと興味を持ってみている姿があった。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<p>掲示を見ながらカレーの材料や使っている器具について子ども同士で話をしていたり、保育士のちょっとしたクイズに答えたりするなど、食に興味を持っているようだった。今後も食に興味を持てるような活動を行っていきたい。また、カレーに何が入っていたかのクイズなどが書いてある紙を配り、親子での会話にも繋がるようにしていきたい。</p>	備考	

施設名	大東保育園	電話	048-887-6168
住所	さいたま市浦和区大東2-18-7		

事例 45	タイトル	今日のうんこはどんなうんこ？	
	目指す姿 (大きな目標)	食と便の関係性を知る	
	当日のねらい (小さな目標)	親子で楽しみながらみてもらう 便の種類を知り親しみを持つ	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児 <u>1歳児</u> <u>2歳児</u> <u>3歳児</u> <u>4歳児</u> <u>5歳児</u> <u>保護者</u> ・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年9月26日～10月13日	
	場所	事務所前の掲示板	
	資料・教材	絵本「うんぴ・うんによ・うんご」を色画用紙、模造紙を使って再現	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を基にした掲示を作り、親子で見楽しみながら便のことを知ってもらう</li> <li>・トイレの蓋をめくすることで、色々な種類の便が見られる</li> <li>・便秘の時に食べるという食べ物などを知らせるなど便の状態と体の繋がりについて親子で知る</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで「好き嫌いなく何でもよく食べる」ことは伝えていたが、なぜバランスよく食べる必要があるのかまでは伝えきれていなかったので今回掲示を通して伝えていった</li> <li>・送迎時に親子でトイレの蓋をめくって楽しみながら会話している姿があった</li> <li>・掲示を見た後から排便時に自分の便の形状や色を確認する姿が見られた</li> <li>・便＝汚いものという認識だけだったのが、少し見方が変わってきたように思えた</li> </ul>		
評価・今後の課題	<p>今回は掲示という形での親子での参加となったが、集会や歳児ごとさらに食を繋げた内容を広げて深めていけるようにしていきたいと思う</p>	備考	

施設名	針ヶ谷保育園	電話	048-824-3746
住所	さいたま市浦和区針ヶ谷1-4-3		

事例 46	タイトル	やさいのおなかクイズ	
目指す姿 (大きな目標)	親子で食への興味・関心がもてるようにする。		
当日のねらい (小さな目標)			
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年10月	
	場所	玄関ホール	
	資料・教材	・ホワイトボード ・絵本「やさいのおなか」 ・解答用紙	
実施内容	秋の旬の野菜3つを取り上げ、クイズにして掲示をした。 解答用紙を用意して、ポストに入れてもらった。 後日参加してくれた人に、参加賞(かぼちゃのペンダント)を渡した。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、子どもと会話をしながらクイズを楽しみ参加していた。</li> <li>・参加賞に対する反応も返ってきた。</li> <li>・子ども同士でも何の野菜か話し合う姿が見られた。</li> <li>・選択式ではなく、記述式であったが、参加する児が多かった。</li> </ul>		
評価・今後の課題	野菜について、興味のある児が多く、楽しんで行っていた。このクイズを通して旬の野菜について楽しんで知ってもらいたい。 また、引き続き、冬が旬の野菜についても、クイズや掲示を考えていく。	備考	



施設名	南浦和保育園	電話	048-861-6954
住所	さいたま市南区根岸2-19-3		

事例 47	タイトル	職員劇「にんじんだいこんごぼう」
目指す姿 (大きな目標)	劇を通して身近な野菜に興味を持つ。	
当日のねらい (小さな目標)	集会に参加し、野菜に興味をもったり、楽しんで身体を動かしたりする。	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )
	日時	令和4年6月27日(月)
	場所	5歳児室
資料・教材	オペレッタ「にんじんだいこんごぼう」	
実施内容	<p>子どもが楽しんでいる紙芝居の話を題材に食育集会を実施する。                  子ども向けに野菜のクイズを行い、「にんじんだいこんごぼう」の劇を職員が演じる。                  それぞれの役の衣装を着て、台詞のやりとりを楽しんだり、簡単な体操を踊ったりする。                  お話の最後で野菜の体操を子どもたちと一緒に踊る。                  集会の様子を写真に撮り、保護者向けの掲示を作成した。</p>	
結果・参加者の反応や様子	<p>・野菜嫌いな子どもが多いことから、楽しみながら野菜に関心をもてるようにと内容を考えた。子どもたちが普段から親んでいる話なので、野菜に興味を持って見る様子がみられた。                  ・感染症対策のため、2. 5歳、3. 4歳に分かれ、2回公演で行った。内容を20分程度になるようにしたので、子どもたちも集中してよくみていた。話の最後に体操を行い、参加型にしたことで、体を動かしながら楽しんで参加できていた。                  ・その日の給食の献立に出てくる野菜を題材にしたことで、「にんじんあった」「ごぼうは黒いんだね」と子ども同士でのやりとりがみられ、身近な野菜に親しみをもつことができた。                  ・集会の様子を写真に撮り、保護者向けに掲示を行ったことで、親子で会話を楽しむきっかけとなった。</p>	
評価・今後の課題	<p>感染症の流行で集会を行うことが難しい中で、集会のやり方を工夫して行うことができ良かったと思う。内容もわかりやすく、短い時間で行ったことで、2歳から5歳まで、興味関心をもって楽しんで見ることができていた。                  今後は身近な野菜に興味をもてるように、集会だけで終わりにするのではなく、子どもたちが楽しめるような食育教材を作ったり、集会を企画したりしていきたい。</p>	備考



まず始めに野菜クイズ！  
 「ごぼうは何色？」「これなんの野菜？」と簡単なクイズをしました♪  
 子どもたちは元気な声で応えてくれました。

『にんじんだいこんごぼう』  
 野菜たちはたくさん遊んで体は真っ黒！温泉に入って汚れを流していると・・・色がどんどん変わっていきました。



野菜のダンスをみんなで踊りました♪



保護者向けに集会の様子を掲示しました☆

施設名	さいたま市立文蔵保育園	電話	863-1037
住所	南区文蔵3-5-17		

事例 48	タイトル	もぐもぐボードの作成・食育情報の発信	
	目指す姿 (大きな目標)	保護者や子どもの食に関する興味・関心を育む	
	当日のねらい (小さな目標)	食育に関する情報をまとめたもぐもぐボードを活用して、保護者や子どもと情報交換を行い、食への興味・関心へとつなげていく	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	2022年6～11月	
	場所	4歳児室前ベランダ	
	資料・教材		
	実施内容	6月 お給食室の先生に質問コーナー 第一弾 7月 食育クイズ「この野菜はなーんだ?(夏野菜編)」 8月 食育クイズ「保育園でゴーヤの実は何個とれるかな?」 10月 食育クイズ「この野菜はなーんだ?(冬野菜編)」 11月 お給食の先生に質問コーナー 第二弾	
結果・参加者の反応や様子	全クラスの保護者が送迎で通るベランダに「もぐもぐボード」を設置し、今まで園内の数か所で発信されていた食育情報を一か所にまとめて発信すると、子どもと一緒に送迎時に見ている姿が見られた。また、園側からの発信だけでなく、「給食室の先生に質問コーナー」と題して、給食への感想、リクエスト、食事に関する質問などを募ると、「〇〇サラダがおいしい」「園で子どもたちに人気の野菜メニューは何ですか?」など子どもや保護者からの意見が寄せられた。 おいしいと感想をいただいたメニューは作り方を載せたレシピを自由に持ち帰れるよう掲示すると、シール式のアンケートに「持って帰った」「作ってみた」等の反応が見られた。質問に対しては回答を作成し掲示を行った。また、園側からの発信のみにせず、アンケートや質問コーナーなど、子どもや保護者も参加できる形をとったことで、食育について双方向からの情報交換ができたと感じる。また、登降園時に使用するQRコードの近くに、「食育ボードを更新しました」という掲示をだし、さらに多くの保護者・子どもが興味をもち、関心を深められるようにしていきたいと考える。		
評価・今後の課題	今年度初めて、ベランダに食育ボードを設置したので、年度の最後には「設置場所は分かりやすかったか」「内容は参考になったか」などの質問で、保護者参加型のアンケートを実施し、次年度以降の設置場所や更新内容の参考にしていきたい。	備考	



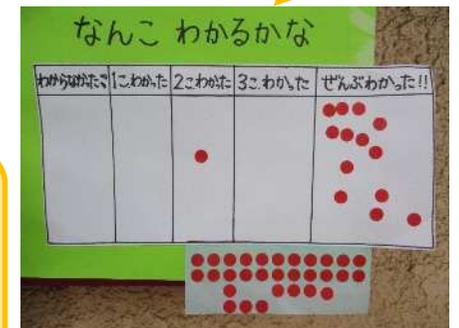
全クラスの保護者が送迎時に通る場所に設置しました!!



園全体の食育情報を載せる「食育ボード」を作成



シールで簡単に回答できる形式のアンケートは、反応が多かったので続けていきたいです。



- <発信内容>
- 旬の食材の栄養や調理方法
  - 食べ物に関するクイズ
  - 給食室の先生に質問コーナー
  - 保育園の人気メニューのレシピ など

施設名	さいたま市立白幡保育園	電話	048-863-8105
住所	さいたま市南区白幡3-1-2		

## 何の芽かな？

野菜の栽培をしていた8月、育てていたスイカのツルが枯れてしまい、ツルを片付けたプランターから、芽が出ていることを子どもが発見しました。

事例 49	タイトル	何の芽かな？	
目指す姿 (大きな目標)	野菜の栽培に興味、関心を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	次の日の期待を楽しみにし、野菜の育つ様子を知る		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <b>5歳児</b> ・保護者・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <b>保育士</b> ・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年6月～9月	
	場所	園庭	
資料・教材	野菜の栽培		
実施内容	食育の一環で5歳児クラスが野菜の栽培を実施。 子どもたちが何を植えるかを話し合い、苗を買に行き育てる。 スイカを育てる過程で見つけた子どもの発見、話し合いの様子。		
結果・参加者の反応や様子	<p>8/22 枯れてしまったスイカのプランターに芽が出ていることに子どもが気づき、クラスに投げかける。「スイカかな？」という子もいれば「花かな？」という子もいて考えを巡らせていた。担任が何が育つか調べてみようかと話をする。</p> <p>8/24 数日経ち芽が出たことで野菜への興味がさらに広がり水やりを積極的に行う姿がみられるようになる。</p> <p>9/5 芽が育ち葉が増える様子に「これスイカだよね」「図鑑で調べてみよう」と更に興味が増している様子があった。</p> <p>9/13「あれはスイカだったね」「でもスイカは夏だから駄目になっちゃうね」と旬の時期を図鑑で調べ知識を得る。</p>		
評価・今後の課題	野菜の栽培では暑さもあり戸外での機会が減ると水やりをする姿が減っていたが、新しい芽が出たことから再び水やりや野菜への興味がでてきた。 子ども達の発見をクラスで話し合ったり、考える姿に繋がった。 子どもの気づきを保育者がどうやって繋いでいくか、見逃さないようにしていくことが大切だと確認できた。	備考	子ども発信に興味を持ったことについて広げていけるよう食育担当で話し合い、担当でない職員にも伝え共有した。 担任が子どもの発信や興味をキャッチしたことで栽培の活動をより子ども主体に行い、上手くいかなかった理由を考えたりどうしたら育たなかった野菜が再生するか等子ども自身の考えを話し合う姿があった。



芽が出ているよ！  
スイカかな？ 花かな？



葉っぱの形を見て  
「これスイカだよね！！」



育てていたスイカが大きくなる前に割れてしまい、割れたスイカから種がこぼれて芽が出たのでは？と考えた子どもたちでした。

施設名	さいたま市立大谷場保育園	電話	048-885-8992
住所	さいたま市南区南浦和 3-36-11		

事例 50	タイトル	給食紹介	
	目指す姿 (大きな目標)	・食に対して興味や関心を高める	
	当日のねらい (小さな目標)	・給食に出てくる食材や作り方に興味を持つ	
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年5月～月に1度	
	場所	各保育室	
	資料・教材	・実際に使われている食材 ・給食室の調理器具	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度“食育の日”を目安にその日に提供する給食やおやつがどのように作られているのか、どのような食材が使われているのか、各クラスの年齢に合わせて紹介する。</li> <li>・カレーなどの身近なメニューをはじめ、行事食や子どもたちの興味・疑問に合わせて紹介するものを選ぶ。</li> <li>・実施している様子を写真に撮り、保護者に向けても掲示する。</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<p>・カレーの紹介では、隠し味にイチゴジャムが入っていることに驚いた様子が見られ、「だから甘いんだね」と新たな気づきに繋がった。次にカレーが出た時には、「イチゴジャム入っているんだよね」と話す姿が見られた。</p> <p>・米粉の味噌入り蒸しパンを紹介した時には、蒸し器を初めて見たという子どもも多かった。「どうして穴があいているの？」と疑問を持つ姿があり、“蒸す”という調理方法を初めて知った子どもも多く見られた。</p> <p>・普段見る事のできない大きな調理器具に興味を示す姿があり、その日に食べる給食の作り方や食材について知ることで、食べる意欲に繋がった。また、クラスごとに行ったことで各歳児に合わせた伝え方ができ、子どもたちの興味・関心が深まった。</p>		
評価・今後の課題	<p>・日頃から給食時に各クラス食材を紹介していることで野菜の名前は知っている子どもが多かったが、作り方や調味料等は知らない子どももいたので、関心を持つ姿が見られた。又、給食前に行くことで食べる意欲にも繋がったように感じた。</p> <p>・今後も給食中に出る子どもの気付きや疑問の声を拾い、紹介することで食に対しての興味や関心を高めていきたい。</p>	備考	<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月 和食の日(11月24日) 出汁比べ(かつおぶし・煮干し)</li> <li>・12月 冬至(12月22日) 冬至について かぼちゃのいとこ煮の紹介</li> </ul>

<5月 カレー紹介>



<10月 米粉の味噌入り蒸しパン紹介>



施設名	辻保育園	電話	048-864-3385
住所	さいたま市南区3-10-15		

事例 51	タイトル	食材の不思議を知ろう
目指す姿 (大きな目標)	普段食べている食材を見たり触れたりして、子どもたちの食への関心を高める	
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食に出ている食材に触れ、様々な感覚を刺激する</li> <li>・乾物を水に浸すとどうなる？食べ物不思議を見て知る</li> </ul>	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・ <u>1歳児</u> ・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他( )
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他( )
	日時	令和4年11月
	場所	各保育室
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾物(ひじき、わかめ、切り干し大根、高野豆腐)</li> <li>・ジップロック袋、保存容器、プラスチック皿</li> </ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の食材としてよく使われている乾物とは何かを子どもたちに話す。</li> <li>・水に戻す前と後の乾物を子どもたちが見たり触れたりする。</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾物に興味を持ちよく触っていた。翌日の給食のメニューに切り干し大根やひじきが出たが、普段苦手意識をもっている子も口にしている、全体的に食べが良かった。</li> <li>・水に戻す前と後の匂いの強さや大きさに気付き、驚く姿があった。給食で調理された切り干し大根やひじきの匂いを嗅いでみようとする姿もあり、乾物紹介をしたからその反応が見られた。調理されたものは、ただ水に戻した時よりも匂いが薄くなったという声も聞かれた。</li> <li>・水に戻す前のひじきとわかめを見比べ、見た目は似ているが大きさが違うという発見があった。</li> <li>・普段わかめを口にしない子が乾物紹介では自らわかめを手に取り、口に入れてみようとしており興味を示していた。</li> <li>・4つの乾物の中で特に高野豆腐の反応が大きかった。初めはつまんで汁が出ることに驚いていたが、次第に両手で思い切り絞る姿があった。その水の中に再び高野豆腐を入れ、水が吸収される様子に興味を持ち何度も繰り返し楽しんでいった。</li> </ul>	
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのクラスも反応が良く興味を持って参加していたので良かった。各クラス1度に4つの乾物を紹介したが、当日や翌日出てくる乾物をその都度紹介するとさらに食への関心が高まったのではないかと感じたので次回に活かしたい。</li> <li>・今回は乾物を水に戻した変化を見せて楽しんだが、様々な食材を干して乾物にしてみたい。</li> </ul>	



施設名	さいたま市立 曲本保育園	電話	048-864-3384
住所	さいたま市南区曲本4-5-7		

事例 52	タイトル	玉ねぎの皮を使った草木染めでハチマキを作ろう	
	目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して身近な食材に親しみを持ち、興味や関心を高める</li> <li>・食べ物や資源を大切に</li> </ul>	
	当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食材や草花で布を染められることを知る</li> <li>・染まっていく様子や染める経験を楽しむ</li> </ul>	
方法	対象者 (〇で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・(5歳児)・保護者・その他( )	
	実施者 (〇で囲む)	幼稚園教諭・(保育士)・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年6月15日 10時～11時	
	場所	5歳児室、ベランダ	
	資料・教材	ガーゼ、ポウル、豆乳、ビニール袋、玉ねぎの皮(給食で使用したもの)、鍋、コンロ、ミョウバン水	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆乳にガーゼを浸し、乾かす</li> <li>・乾かしたガーゼをミョウバン水につける</li> <li>・玉ねぎの皮を火にかけ、色を出す</li> <li>・鍋の中に布を入れ染めた後、干す</li> <li>後日、出来上がった布を使って三つ編みをし、ハチマキにする</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<p>・給食室から玉ねぎの皮をもらい、クラスで保管していると「なんかくさい」「皮もおいがるんだね」と準備の段階から興味を持つ姿が見られた。また、当日は鍋で煮出した匂いを「いいにおい」と表現していた。</p> <p>・「皮を煮ると何色になるか」と問いかけると「赤」「茶色」「青」などそれぞれが思う色を答える。煮出された色を実際に見て、鮮やかなオレンジ色であったことに驚いていた。</p> <p>・その日の給食では、野菜の色に注目する姿がみられ「この野菜で染めたら何色になるのかな」と活動と結びつける子もいた。</p>		
評価・今後の課題	玉ねぎの皮の匂いや色など、実際に体験することでしか分からない気づきを得ることができ、身近な食材への興味や関心が高まったと考えられる。今回の経験をきっかけに、他の様々な食材にも興味を持ち、大切にすることを育むことができるよう働きかけ続けていくことが今後の課題である。	備考	・下準備に時間がかかるが、丁寧に行っておくことで発色が良くなる。

令和4年度 曲本保育園食育事例集【玉ねぎの皮を使った草木染めでハチマキを作ろう】



まずは豆乳につけてそまりやすく…



乾かした後にミョウバン水につけて…



その間、給食室からもらった玉ねぎの皮を鍋に…



玉ねぎの皮から出た色にびっくり!!



「染まるかな…。」心配そうに見守ります。



入れた瞬間、きれいに染まって大成功!!



染めた布を使い、夏祭りのお神輿で巻くねじりハチマキを作りました！  
みんなでおそろいのハチマキをつけ、心をひとつに「わっしょい、わっしょい」と盛り上がりました！

施設名	さいたま市立大谷口保育園	電話	048-887-4989
住所	さいたま市南区大谷口 1089-1		

事例 53	タイトル	夏の野菜を見てみよう！	
目指す姿 (大きな目標)	身近な食材への興味関心を高める。		
当日のねらい (小さな目標)	親子で夏野菜の塗り絵を楽しみ、野菜の色や形の違いに興味を持つ。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 保護者 その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭 保育士 栄養士 調理師 調理員 その他( )	
	日時	令和4年8月～9月	
	場所	ホール	
資料・教材	夏野菜(とうもろこし・なす・きゅうり・とまと)の特徴や断面図をまとめた掲示、夏野菜の塗り絵、回収ポスト		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>登降園時に親子で通るホールにある食育コーナーに、夏野菜の掲示を設置。</li> <li>夏の野菜の塗り絵を自由に手に取り、持ち帰ることができるようにする。</li> <li>家庭で塗ったものをポストに投函してもらい、一定期間ホールに掲示し、紹介する。</li> </ul>		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、食材がモチーフの塗り絵を取り入れてみたところ好評だったため、今年度は子どもたちの塗り絵を紹介することにした。今回は約1ヶ月で70人以上の子が持ち帰り、回収した塗り絵を見ると1歳児から5歳児だけでなく一緒に送迎に来る卒園児も含め幅広い年齢の子たちが参加してくれた。</li> <li>塗り絵を掲示したことで、親子で友だちの塗り絵を見たり、野菜紹介を見たりと、ボードの前で足を止めて見てもらえる機会が増えた。また、自分の塗り絵を見つけた子も嬉しそうだった。</li> <li>親子で掲示を見ているところへ保育者から話しかけてみると、野菜に旬の季節があることを知って驚いたり、野菜の外側と内側の色の違いに気付いて他の野菜はどうなのかと興味を持ったりする声が多かった。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぬりえや掲示を通して1年中食べている野菜にも旬があることや、切ってみると中の色が違うことなどを子どもたちに知ってもらうことができ、興味・関心に繋げることができた。</li> <li>今回は野菜の絵のみだった為、実物に触れる機会を作ることや他の季節の旬の野菜も掲示するなど工夫していきたい。</li> <li>塗ってもらったぬりえを掲示したことで食育ボードを見られる機会が増え、親子の会話のきっかけともなっていた。今後も保護者や卒園児など家庭も巻き込みながら食に対して興味・関心が広げられるような内容を考えていきたい。</li> </ul>	備考	

施設名	さいたま市立武蔵浦和保育園	電話	048-837-3411
住所	さいたま市南区鹿手袋 4-1-12		

事例 54	タイトル	からだをつくる4つの色ってなあに？	
目指す姿 (大きな目標)	食材の色分けを通して、それぞれの食べものの働きを知る		
当日のねらい (小さな目標)	4色分けの緑色について知ろうとする。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 保護者 その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭 保育士 栄養士 調理師 調理員 その他( )	
	日時	令和4年5月18日(水)	
	場所	各保育室	
資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>「えいようのうた」歌詞ボード</li> <li>食材の断面のイラスト</li> <li>野菜(オクラ・トマト・キュウリ・ズッキーニ)</li> <li>野菜のイラストパネル</li> <li>ままごと(包丁・まな板)</li> </ul>		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスで食育集会を執り行う。</li> <li>歌詞ボードを見ながら「えいようのうた」を歌う。食材の4色分けについて伝える。</li> <li>4色分けの緑色の食材の働きについて紹介する。</li> <li>食材の断面のイラストを見て何の食材なのかを考える。実際に切ってみてどうなのか子どもたちと見てみる。</li> </ul>		
結果・参加者の反応や様子	<p>4色分けについて紹介する際に、歌と一緒に子どもたちに伝えることで子どもたち自身も参加しやすい様子だった。また集会後も子どもたちから自発的に「歌を歌いたい」「歌詞を覚えたい」と伝えてくる子もいた。歌詞ボードを子どもたちが見られるところに掲示することで、子どもたちの達成感へと繋げることが出来た。</p> <p>食材の断面のイラストはあえて白黒のイラストにすることで色ではなく、形や中の様子を見て考えている子が多かった。実物の食材の断面をみんなで見ることで納得している子もいた。</p> <p>運動会の前には「早く走れるために赤い食べ物を食べよう」や感染症が流行した際には「風邪をひかないように緑の食べ物を食べたいね」など子どもと保育士の間でも4色分けを意識した会話が見られた。</p> <p>歌のフレーズからその色の食材を思い出し、給食の時に意識して食すような姿があった。食育集会について保護者に向けに掲示を行い、子どもたちの様子を写真を交えて伝えた。</p>		
評価・今後の課題	<p>給食の時など普段の会話の中から食材に対する興味関心が出てきたり、集会での出来事を振り返って保護者や保育士に伝えていたりなど関心を高める事が出来た。今年1年を通して各色の働きについて、集会を通して子どもたちに伝えていく。新たな働きだけではなく、これまでに行った事も振り返っていけるようにしていきたい。</p>	備考	

施設名	さいたま市立尾間木保育園	電話	873-1103
住所	さいたま市緑区中尾1432-5		

事例 55	タイトル	見て聞いて嗅いで楽しむ 給食ライブ	
目指す姿 (大きな目標)	食材・調理する過程に興味関心を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	調理の過程を見て、聞いて、匂いを嗅いで楽しみながら給食への関心を深める		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・(5歳児) 保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭 (保育士) 栄養士 (調理師) (調理員) その他( )	
	日時	令和4年10月27日(木)9:20~10:10	
	場所	給食室	
	資料・教材	・食材(肉・人参・玉ねぎ・さつまいも・ほうれん草・ニンニク・生姜・りんご) ・ホワイトボード ・食材のイラスト(ラミネートされたもの) ・IHクッキングヒーター ・マイク	
実施内容	①給食室で食材を用意する ②5歳児に事前に給食室への質問を聞く ③当日、給食室とマイクを使ってやりとりしながら、給食前でカレーに入る食材をガラス越しに見て、同じ食材のイラストをホワイトボードに貼ったり、小皿に入ったカレー粉の匂いを嗅いだりし、実際の調理の流れを見る。(ライブの後ろには、実際に給食を調理している様子が見えるようになっている) ④職員によるりんごの皮むき長さ対決をする。 ⑤5歳からの質問に答える。		
結果・参加者の反応や様子	・ホワイトボードに食材のイラストを貼っていたが、普段からクラスで食材に興味を持てるように取り組んでいたのもあり、すぐに食材名がわかり貼ることができていた。 ・普段もガラス越しで調理の様子は見ていたが、食材を切る所から煮るところまでの過程を見ることができ、さらに食材・調理に対する興味を持つ子が増えたように感じる。 ・カレーのルーが手作りであることに驚いている子が多かった。 ・りんごの皮むき長さ対決では、普段見ることができない様子を楽しんで応援する姿があった。		
評価・今後の課題	・今年度は新園舎になり、ガラス張りの給食室を生かした取り組みを行うことができた。普段から、ガラス越しに給食室をのぞく姿があったが今回のような取り組みをしたことで子ども自身も給食の先生との距離が縮まったように感じる。 ・今後の課題として、今回は初めての取り組みだったので5歳児のみ行ったが、今後は他の歳児にも経験できるように内容も考え、取り組んでいきたい。	備考	・ライブをして給食室との距離が縮まったことで興味を持って、意欲的に給食を食べる姿が増えた。 ・「なぜご飯でみんなを笑顔にできるの」と子ども達からの質問があり、美味しい物を食べると笑顔になることや愛情を込めて給食が作られていることを直接子ども達に伝える事が出来た。



施設名	さいたま市立原山保育園	電話	048(885)7403
住所	さいたま市緑区原山1-7-2		

事例 56	タイトル	さつま芋を苗から育て、お芋掘りを体験しよう！	
	目指す姿 (大きな目標)	園の畑でさつま芋の苗を植え、育て、お芋掘りの体験をし、食育につなげていく。	
	当日のねらい (小さな目標)	お芋が土の中になっているところを実体験する。自分たちで育て、収穫する楽しさを味わい食育につなげる。	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年10月31日(月)	
	場所	園内畑	
	資料・教材		
	実施内容	年長児が園の畑にさつま芋の苗を植え、水やりをしたり雑草を抜いたりして育てた。さつま芋が大きくなる様子を観察し、実際に芋掘りを行った。	
結果・参加者の反応や様子	<p>毎年、野菜の苗を畑に植えていた。今年は初めて、畑にさつま芋の苗を植え、育て、掘る体験をした。初めてのさつま芋作りだったので、試行錯誤して育てた。さつま芋が実っているか不安であったが、土の中から小さな、小さな、さつま芋が出てくると、「あっ、おいもがあった！！」と大興奮していた子どもたちだった。4歳児も掘る様子を見て、弦が付いている存在に気付き、驚いたり、お芋が出てくると一緒に喜んでいたりした。土を掘っていると、幼虫がたくさん出てきて、なお興奮する子どもたち。栄養のある土だから幼虫もいたことを話し、その中でお芋が育ったことへの喜びもあった。</p> <p>自分で掘ったさつま芋を大事に持ち帰り、自宅で食した。後日「お芋ご飯にして食べたらいいかった！！」「お味噌汁に入れて食べた。中が紫色のお芋でおいしかった。」と嬉しそうに話していた。</p>		
評価・今後の課題	<p>実際に自分たちでお芋の苗を植えて、育てることで、自分たちで育てた喜びを味わうことが出来、食育に繋がった。お芋が見ても掘らないとなかなか出てこない経験もできた。園の庭で体験できたことで、他のクラスも近くで見ることが出来た。来年度も継続し、体験できたらと思う。</p>	備考	

施設名	三室保育園	電話	048-873-7877
住所	埼玉県さいたま市緑区三室1629-6		

事例 57	タイトル	さつまいも、どうやってたべようかな？	
	目指す姿 (大きな目標)	身近な食材に親しみをもち、食べる意欲を育てる	
	当日のねらい (小さな目標)	芋ほりに期待感をもって参加し、親子で喜んで食べてみようとする	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年10月	
	場所	保育室・ベランダ	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙芝居「はたけのあじ」</li> <li>事前取り組みシート「こうやって食べたいな」</li> <li>親子で投票シート「こんな風に食べたよ」</li> <li>投票結果</li> </ul>	
	実施内容	<p>芋ほり実施前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙芝居「はたけのあじ」の内容から、「こうやって食べたいなシート」を作成。それぞれのクラスで子どもたちが食べたいものをひとりひとり聞き、記入した。</li> </ul> <p>芋ほり実施後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「こんな風に食べたよ」シートをベランダに設置し、親子でシールを貼れるようにした。</li> <li>投票の結果を集計し、多かったものを掲示した。</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>芋ほり前、紙芝居「はたけのあじ」を読むと、芋畑やさつまいもの生長の様子に興味津々な表情を見せた。事前シート記入の際には、「どうやって食べようかな。」「〇〇がいいな！」「それもいいね。」という声が聞かれ、芋掘りを楽しみにする気持ちをふくらませていた。</li> <li>芋ほり実施後に、ベランダに「こんな風に食べたよ」シートを設置すると、設置日からすぐに反応があり、親子で一緒にシールを貼る姿が見られた。保護者から、どうやって食べるか子どもと一緒に相談して決めたことや、子どもが作ってほしいものをリクエストされた、食べることを楽しみにしていた、との声が聞かれた。</li> <li>投票の結果を集計すると、「おいもごはんが一番多かったんだね」等、ボードの前で親子で話す姿が見られた。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<p>事前の取り組みから、子どもたちの芋ほりに対する期待感を高め、当日を迎えることができた。持ち帰ったさつまいもを、親子でどのように食べるか相談したり、楽しみにしたりするきっかけとなった。また、事後シートを使って投票したことで、親子での会話のきっかけとなった。</p> <p>今後も、親子で食への関心を持てる働きかけを考えていく。</p>	備考	 

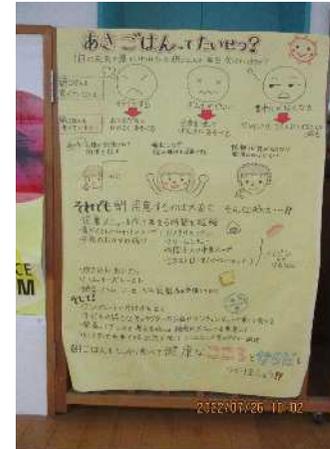
朝食を食べる大切さについて劇を行い、掲示物も作成しました

施設名	さいたま市立西町保育園	電話	048-756-4632
住所	さいたま市岩槻区西町 3-1-24		

事例 58	タイトル	教えて朝ごはん！みんなは何食べてるの？	
目指す姿 (大きな目標)	朝ごはんの大切さを知る		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員劇を見て朝食に関心をもつ</li> <li>・自分が食べている朝食を意識する</li> </ul>		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年5月～8月	
	場所	ホール 玄関ホール	
実施内容	資料・教材	職員劇、パンやコーンフレークなどの朝食の実物、げんきっずソング、パネルシアター、保護者への朝食アンケート、子ども向け朝食写真	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員劇で、朝食を食べている子と食べていない子を演じ、朝食を食べていないと元気が出ない・怒りっぽくなる等の特徴を知らせる。</li> <li>・保護者に職員劇と朝食に関する掲示をした後に、任意で朝食アンケートを取り、その結果を集計して web 配信やクラス掲示で知らせる。</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員劇では、子どもたちが興味をもてるように実物の食材を見せながら、朝ごはんを食べるとよいものを知らせた。劇を観た後「朝ごはんを食べないとおにごっこで疲れちゃうんだよね」という子どもからの声が聞かれた。年長クラスでは、毎日お当番の子どもが自分の朝食を発表する取り組みを始めた。</li> <li>・朝ごはんの困りごとや各家庭の朝食メニューなどを朝食アンケートに記入してもらい、結果を円グラフにして全保護者に伝えた。34名の保護者が回答してくれ朝食には高い関心があるように感じた。</li> <li>・アンケート結果から朝食を食べていない子どもはほとんどいなかったが、とりあえず子どもが食べてくれる好きなメニューが多く、栄養バランスが気になる・食べるのが遅い等の悩みがどの年齢にも共通で見られた。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんの掲示を玄関ホールにすることでいろんな歳児の親子が一緒に見ていたので今後も親子で楽しめる掲示をしていきたい。</li> <li>・食育アンケートは協力的だったので全保護者に配布してもよかった。アンケート結果の発信はできたが、今後保護者からの意見を取り入れた取り組みに繋げて朝食の大切さを伝え続けていきたい。</li> </ul>		備考



・パンやコーンフレークなど朝食の見本も見せました！



知ってる！

朝食べたよ！



朝食についてステップ分けして紹介したり、職員の子どもの朝食を写真付きで紹介しました。

朝食についてのアンケート結果を掲示しました



朝食についてのアンケートは食育だよりとして、保育園内での掲示とWEBで配信もしました。

施設名	さいたま市立岩槻本町保育園	電話	048-756-7565
住所	さいたま市岩槻本町2-5-5		

事例59	タイトル	スイーツポテト作り ～このさつまいも、ひまわり産です～	
	目指す姿 (大きな目標)	栽培を通して、自分で育てる喜びや、食べることへの感謝の気持ちを持つ。	
	当日のねらい (小さな目標)	自分たちで育て、収穫したさつまいもを調理することで、達成感や喜びを感じる。	
方法	対象者 (〇で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児 (5歳児)・保護者・その他( )	
	実施者 (〇で囲む)	幼稚園教諭 (保育士)・栄養士 (調理師)・調理員・その他( )	
	日時	令和4年 11月11日(金)	
	場所	・5歳児室	
	資料・教材	・さつまいも 他材料 ・調理器具	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月上旬にさつまいもの苗を植え5歳児が栽培。10月末に収穫。</li> <li>・クラスで「料理がしたい」と声があがり、さつまいものメニューを話し合う。</li> <li>・当日、材料を見て何を作るかのクイズをする。</li> <li>・感染対策を行ないながらスイーツポテト作りを体験し、給食後にみんなで食べる。</li> <li>・残りのさつまいもはさつまいもチップスにして異年齢児にも食べてもらった。</li> </ul>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培の過程でさつまいもは水に弱いと知り、雨の日は心配をする姿があった。</li> <li>・材料を見て「おさつパイ」「みそ汁」「スイーツポテト」とさつまいもを使用した料理を予想していた。</li> <li>・手袋をつけてさつまいもを潰す工程では、「温かい」「いい匂い」「まだごつごつしてる」「グーの方がやりやすい」「粘土みたいになってきた」と感じたことを言葉にしていた。</li> <li>・砂糖を入れる工程では、塩か砂糖か「甘いから砂糖を使うと思う。」と話し合って当てていた。</li> <li>・形作りでは、どんな形にするかじっくりと考え、個性あふれるスイーツポテトをつくる。</li> <li>・焼き上がりがワゴンに乗って運ばれてくると、嬉しそうに覗き込んでいた。「美味しい」と喜んで食べ、「給食先生はみんなの分作るの大変だね」とありがたみを感じている子もいた。</li> <li>・今までさつまいもを食べられなかった子が笑顔でスイーツポテトを食べ、後日のおやつでもスイーツポテトを食べられていた。</li> </ul>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏野菜の収穫時期から、給食メニューの調理方法に興味を持つ子が多く、その時の子どもの興味に合った食育活動を取り入れたことで子どもの嬉しそうな表情を見る事ができた。</li> <li>・「家に持ち帰った野菜は調理してもらえなかった」と話す子がいて残念であった。持ち帰るタイミングでレシピの掲示等の工夫があっても良かったのではないか。</li> <li>・さつまいものツルでクリスマスリースを製作する予定。</li> </ul>	備考	



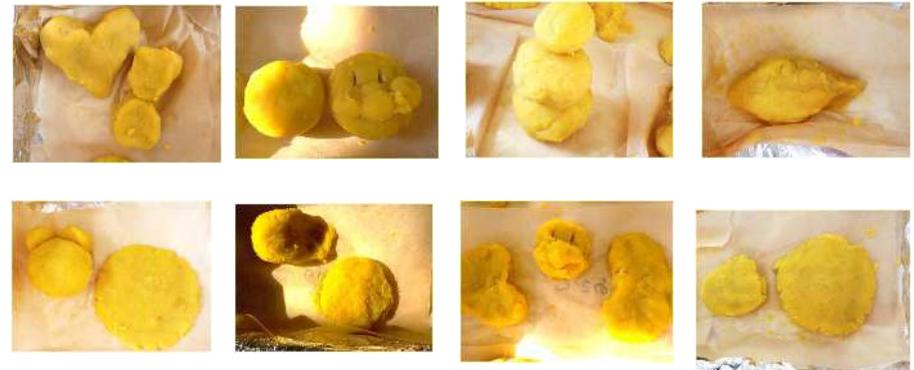
# ひまわりぐみ ライフキッチン

## スイーツポテトづくり

春からみんなで育て、10月に収穫したさつまいもでスイーツポテトをつくりました♪  
さつまいもをつぶすところから、形作りまで体験!!  
焼き上がりを待って食後のデザートでいただきました(^^)♪  
どんな味だったかこどもにきいてみてください!



クイズ!だれが作った  
スイーツポテトでしょう!?



施設名	さいたま市立諏訪保育園	電話	048-794-1620
住所	さいたま市岩槻区諏訪2-5-1		

事例 60	タイトル	食育クイズ&食育集会～秋の野菜に触れよう～	
目指す姿 (大きな目標)	身近な旬の野菜に触れて食への興味関心を高める		
当日のねらい (小さな目標)	食材の体の中での働きについて知る(赤・黄・緑) 野菜の浮き沈みクイズを通して、野菜がどこで実るかを知る クイズを通して楽しく食材に触れ、食材の特徴を掴み思考力を養う		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年10月18日(火)	
	場所	ホール	
資料・教材	赤・黄・緑の衣装 「えいようのうた」のスケッチシアター 飼育ケース はてなボックス 秋野菜(大根・人参・さつまいも・栗)		
実施内容	食育集会では、げんきっずの寸劇の中でスケッチシアターを使い、赤・黄・緑の食べ物の役割を知る。「えいようのうた」を歌いながら親しみを持つ。旬の野菜を水の中に入れ、浮くか沈むかをクイズ形式で行う。野菜が土の中か上かどちらに実をつけるのか子ども達と考える。最後ははてなボックスに手を入れて、中に入っている食材を手の感触で当てる。(野菜…玉ねぎ、しょうが、なす、みかん)		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「げんきっず」というキャラクターが出てきたり、本物の食べ物を使ったり、「えいようのうた」もスケッチシアターを使い、視覚的に色や歌詞が分かる工夫があり、楽しめる集会だったので、子どもたちが集中して見る事が出来た。</li> <li>・水に浮かぶか沈むかのクイズでは正解率も高く、4、5歳中心に畑で野菜を育て、昨年度取り組んだ食育の経験が子どもたちの中に残っている様子が見られた。野菜が浮かんだり沈んだりする度に子どもたちから「わあ～」と歓声が上がっていた。</li> <li>・「箱の中身はなんだろう」では、触っている子は手だけの感触で一生懸命、何の野菜かを考えている姿が見られ微笑ましかった。見るだけでなく形や触った感触、匂いなども体験出来る出し物だったのでとても喜んでた。</li> <li>・クイズは「もっとやりたかった」と泣く子がいる程、楽しんでた。</li> </ul>		
評価・今後の課題	旬である食材に触れる機会をゲーム形式で行ったことにより、園児も楽しく参加することが出来た。日常の保育の中で、「えいようのうた」を歌ったり、給食の食材の色分けをしたりなどを今後も続けていきたい。子どもたちが意欲的に食べてみようと思えるように、集会の場だけでなく日常の保育の中で、食材への興味を持てるような声掛けや関わりを継続して行っていきたい。	備考	

施設名	さいたま市立美幸保育園	電話	757-8450
住所	さいたま市岩槻区美幸3-18		

事例 61	タイトル	夏野菜ってなんだろう？	
目指す姿 (大きな目標)	自分の食べている物に興味を持たせ、食への意欲を育てる		
当日のねらい (小さな目標)	旬の野菜を知り、旬に食べる事の意味や大切さを伝える		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他( )	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他( )	
	日時	令和4年7月28日	
	場所	5歳児保育室	
資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏野菜6種(ナス・きゅうり・トマト・いんげん・かぼちゃ・すいか)</li> <li>・はてなBOX ・私は誰でしょう？クイズ</li> </ul>		
実施内容	段ボールで製作した中が見えない「はてなBOX」に夏野菜6種を入れる 野菜の特徴をクイズにした、私は誰でしょう？クイズを出して中に入っている野菜を考える。 はてなBOX は中に手が入るようにして触った子どもからも触感によるヒントを出してもらう		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知っている知識を積極的に発言して答えを皆で導く様子が見られた。</li> <li>・実施者からの一方的な問いかけだけでは飽きが出て来そうな場面で子どもたちによる触感での参加を途中に入れたことで最後まで気持ちの集中が継続して行うことができた。</li> <li>・当日の給食が夏野菜カレーだったことで教材がそのまま食材となり食べられたことにより繋がりが出来て良かったと思う。</li> <li>・保育園でも夏野菜の栽培をしているので旬の理解もしやすかったように思う。</li> <li>・実施の様子は降園時に保護者に見てもらえるようにポートフォリオを作り、子どもたちに伝えた夏野菜の特徴と合わせて一緒に掲示を行った。</li> </ul>		
評価・今後の課題	講話だけではなく子どもたちが実際に体験するコーナーを設けたことで、より主体的に参加し楽しめていた。 旬はその野菜が美味しく食べられる時期であり食べ物の旬を知る機会となった。 今後、毎日の食材も給食時に回覧を行い自分の食べている物により興味関心を深めていけるようにしたい。	備考	